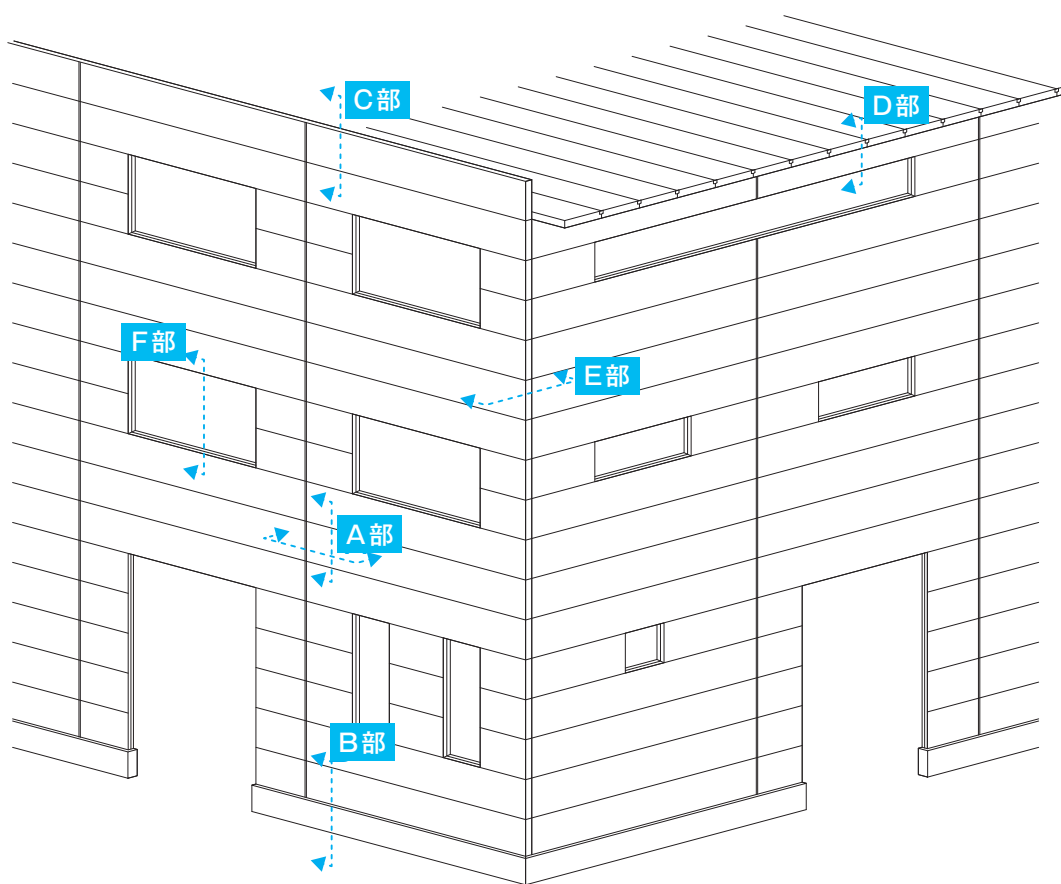


6-6

横壁HDR構法

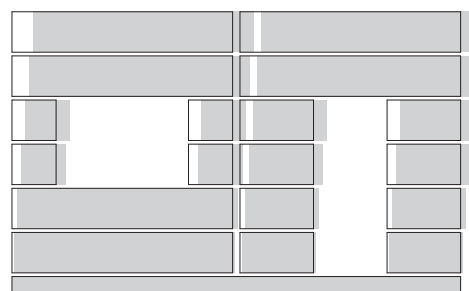
適用範囲	
風圧力	正圧 6,000N/m ² 以下 負圧 6,000N/m ² 以下
対象パネル	100mm、125mm、150mm 厚平パネル 100mm、125mm、150mm 厚意匠パネル ※ 100mm 厚意匠パネルの風圧力は正負 2,000N/m ² 以下

横壁HDR構法キープラン

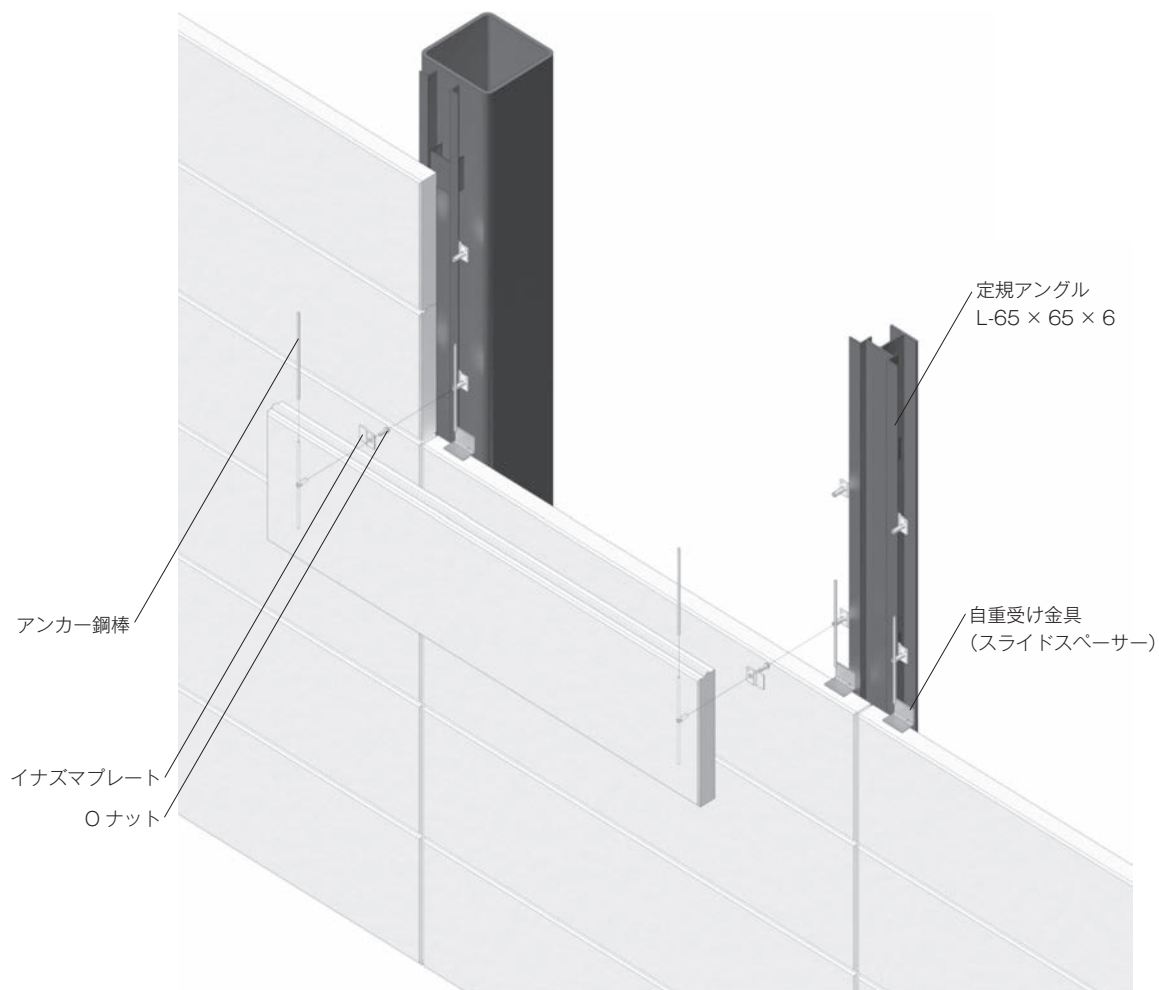


標準構法図A～Fの色文字は別途工事を示します。

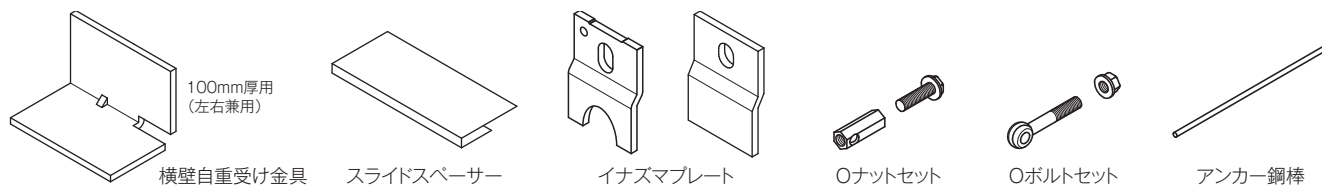
地震時のパネルの挙動



取付構法の概要

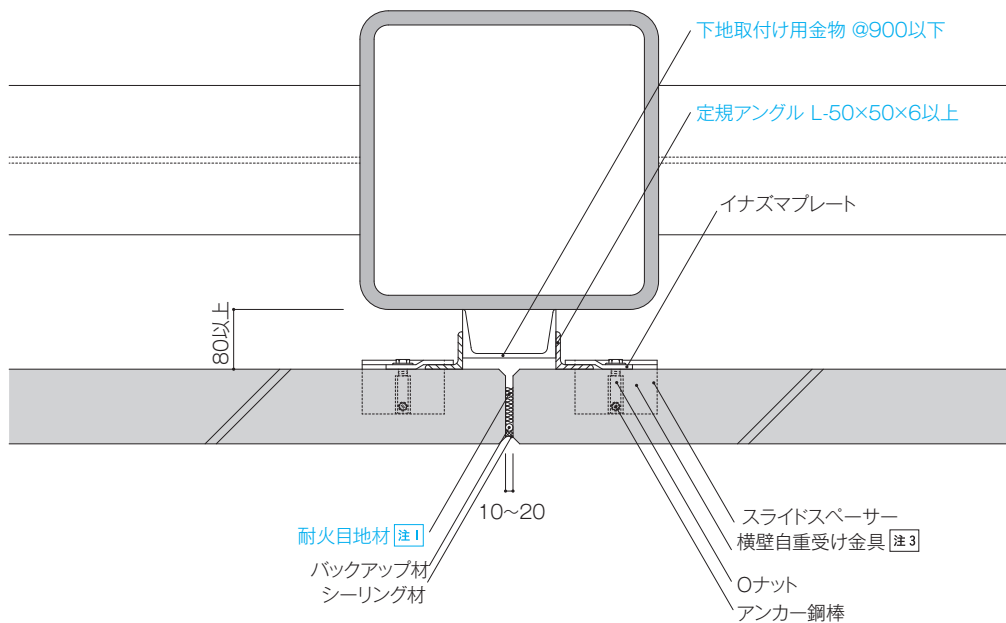
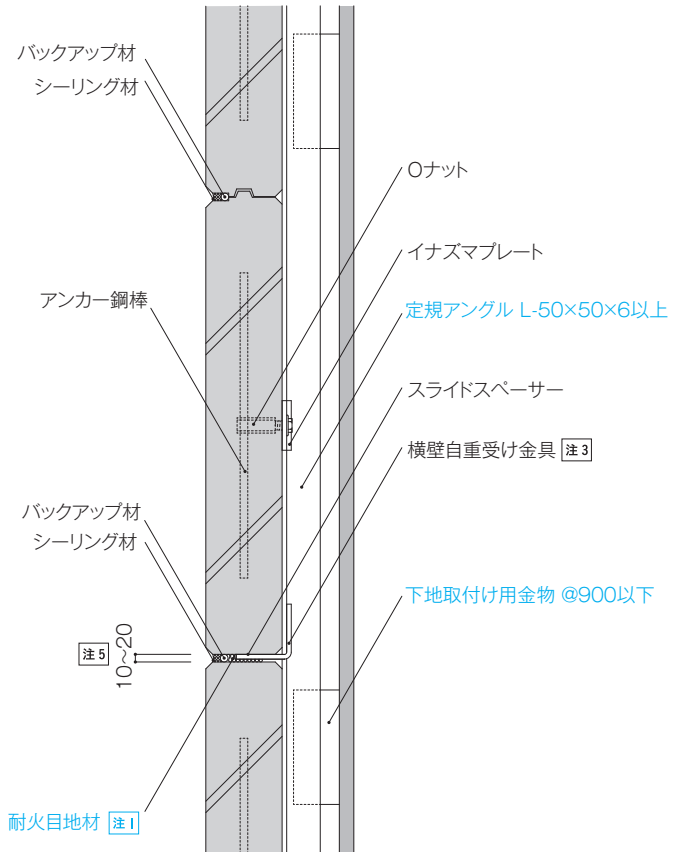
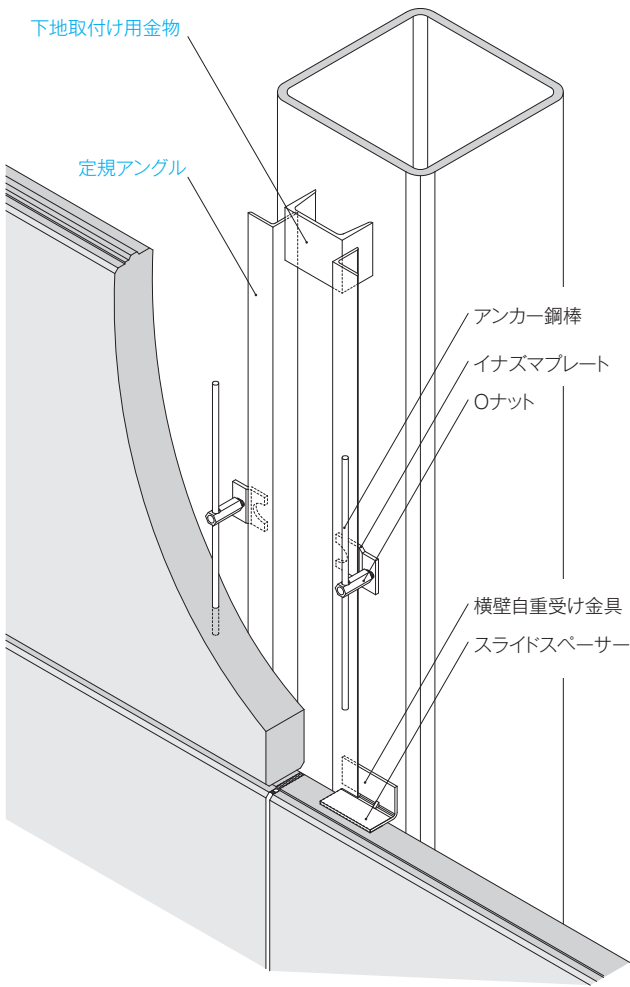


横壁HDR構法専用取付け金具



横壁HDRの注

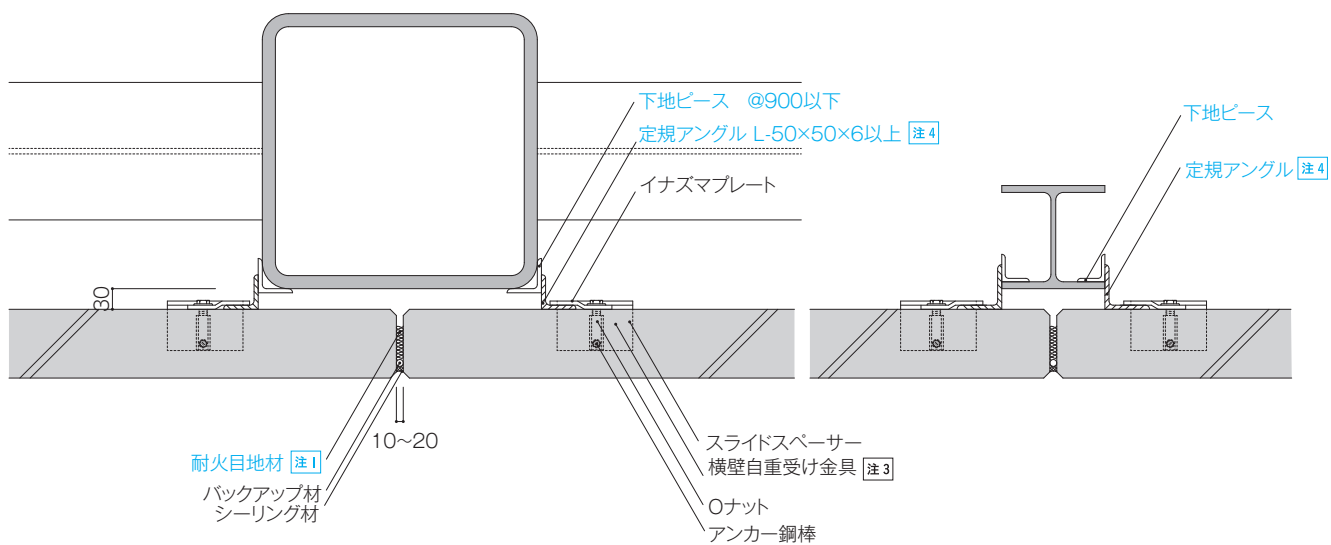
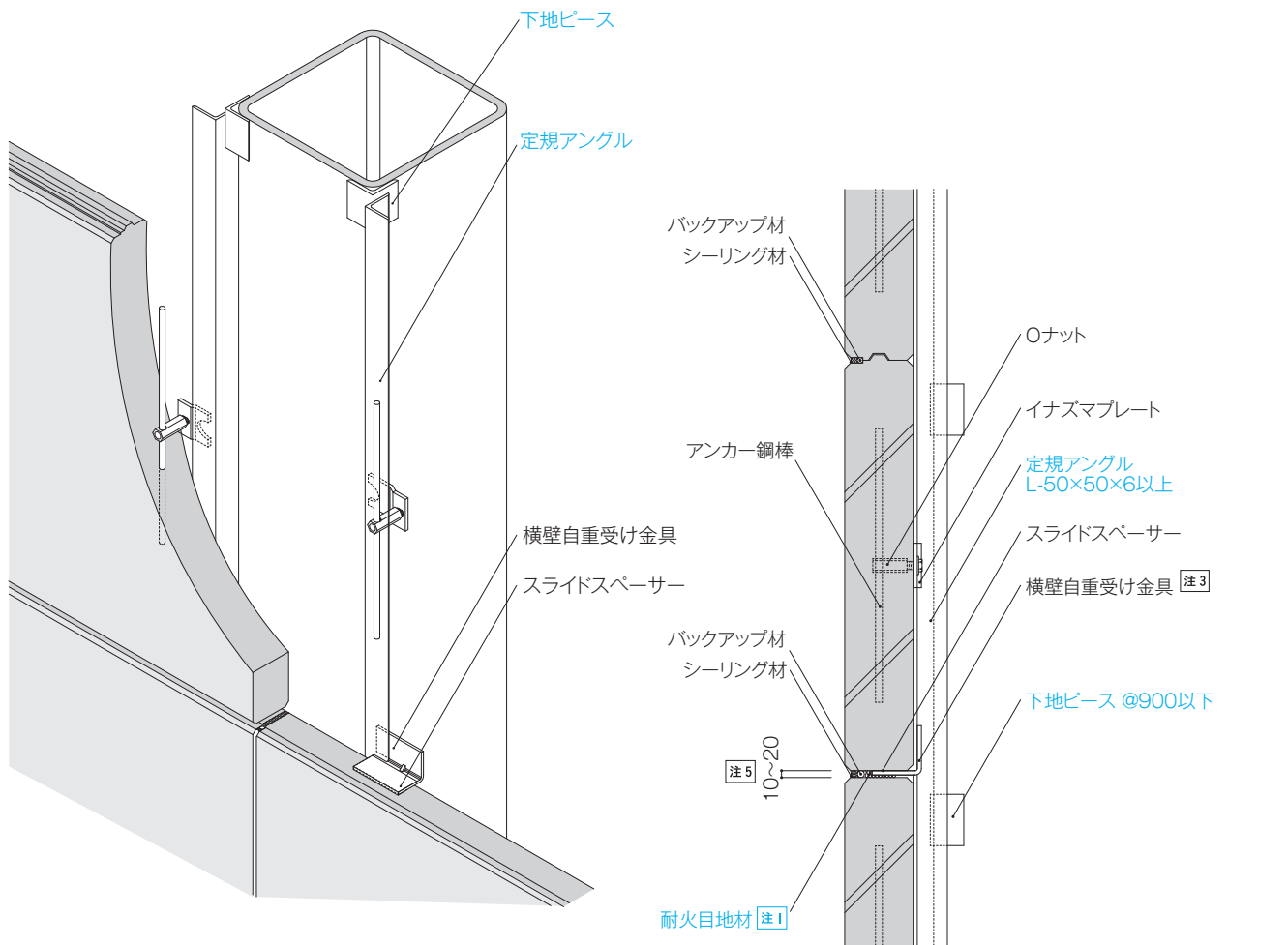
- 注1 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てんする。
- 注2 P U B金具：開口部周辺のパネルをP U B金具で取り付ける場合、パネル長さ1,500mm以下で、負の風圧力2,000N/m²以下の場合に使用できる。ただし、はね出しで使用する場合は、所定の許容荷重以下であることを確認する。
- 注3 横壁自重受け金具：横壁HDR構法では面内変形追従性能を向上させるために、専用の自重受け金具を用いる。自重受け金具は、パネル100mm厚で5枚、125mm厚で4枚、150mm厚で3枚ごとに設け、スライドスペーサーを必ず使用する。
- 注4 下地(柱)がH型鋼の場合にも、直接パネルが接する納まりでは、下地の不陸によりパネルが損傷するおそれがあるため、必ず定規アングルを用いる。
- 注5 伸縮目地は必ず10～20mm幅で設け、パネルの端部形状はフラットとする。



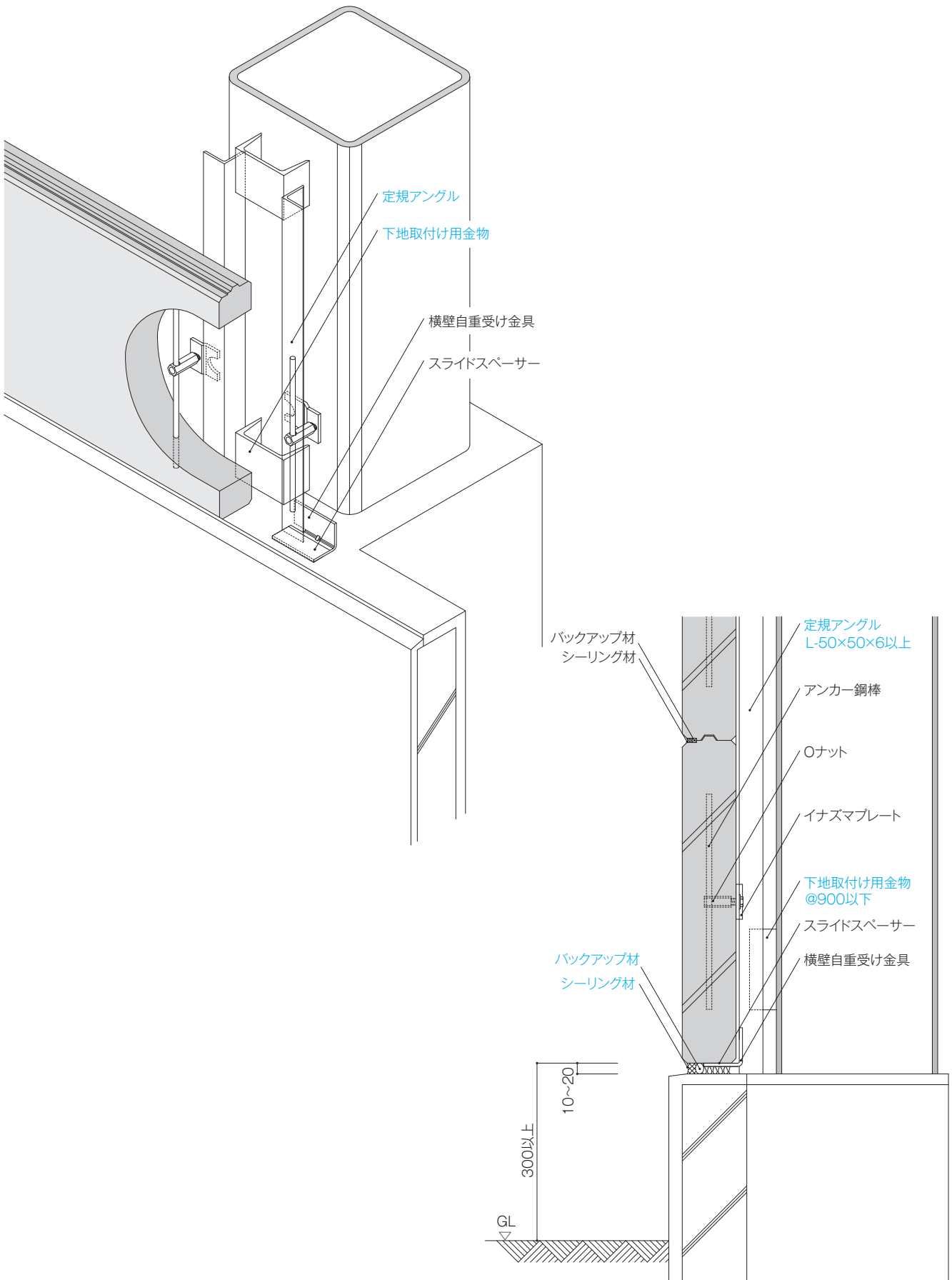
[注1] 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。

[注3] 横壁自重受け金具：横壁HDR構法では面内変形追従性能を向上させるために、専用の自重受け金具を用いる。自重受け金具は、パネル100mm厚で5枚、125mm厚で4枚、150mm厚で3枚ごとに設け、スライドスペーサーを必ず使用する。

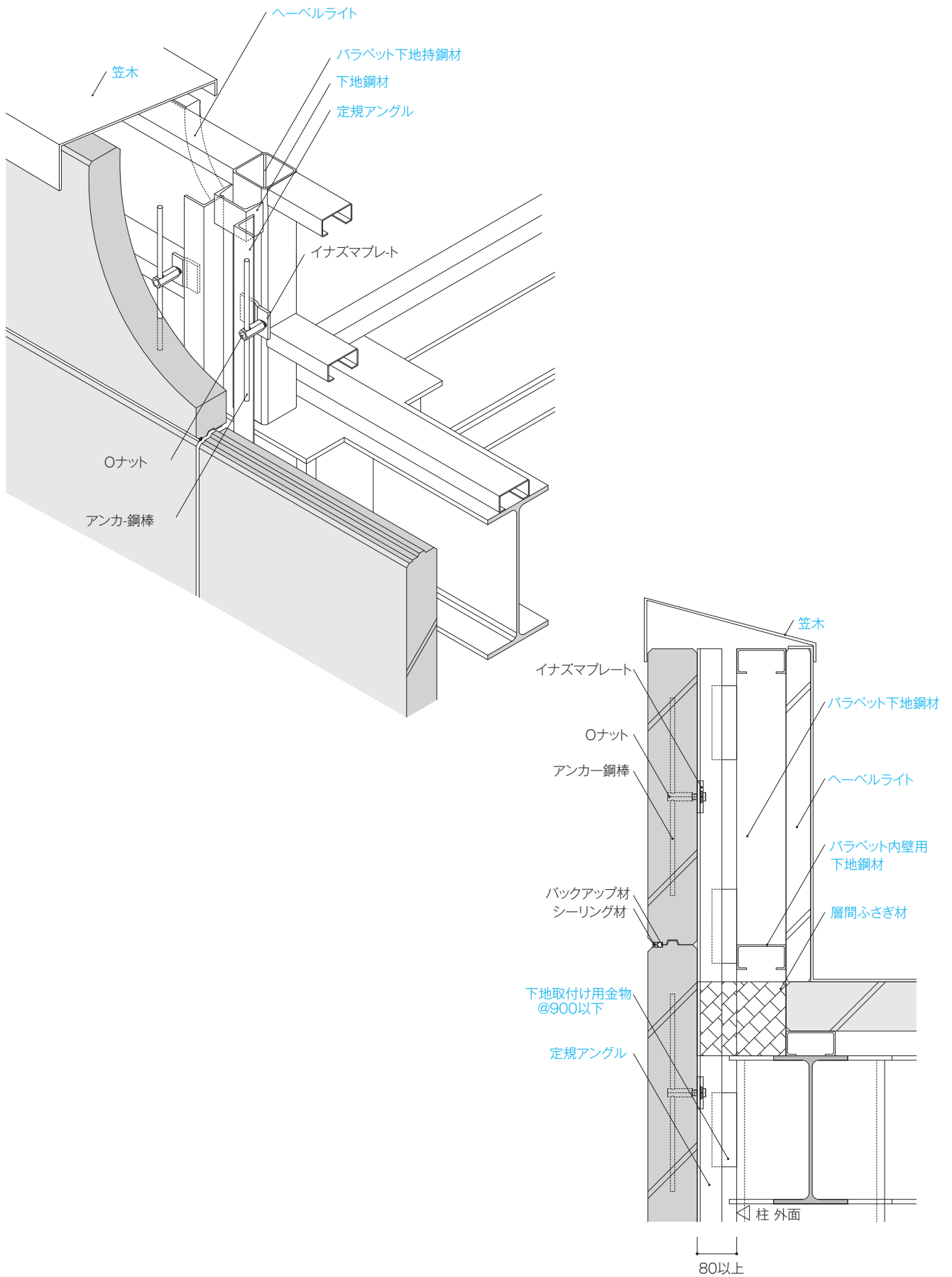
一般部 /A 部 (下地ピースを使用する場合)

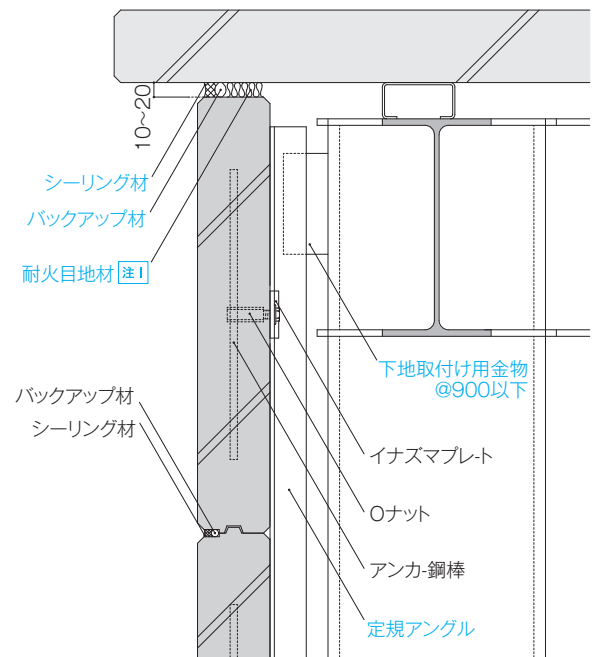
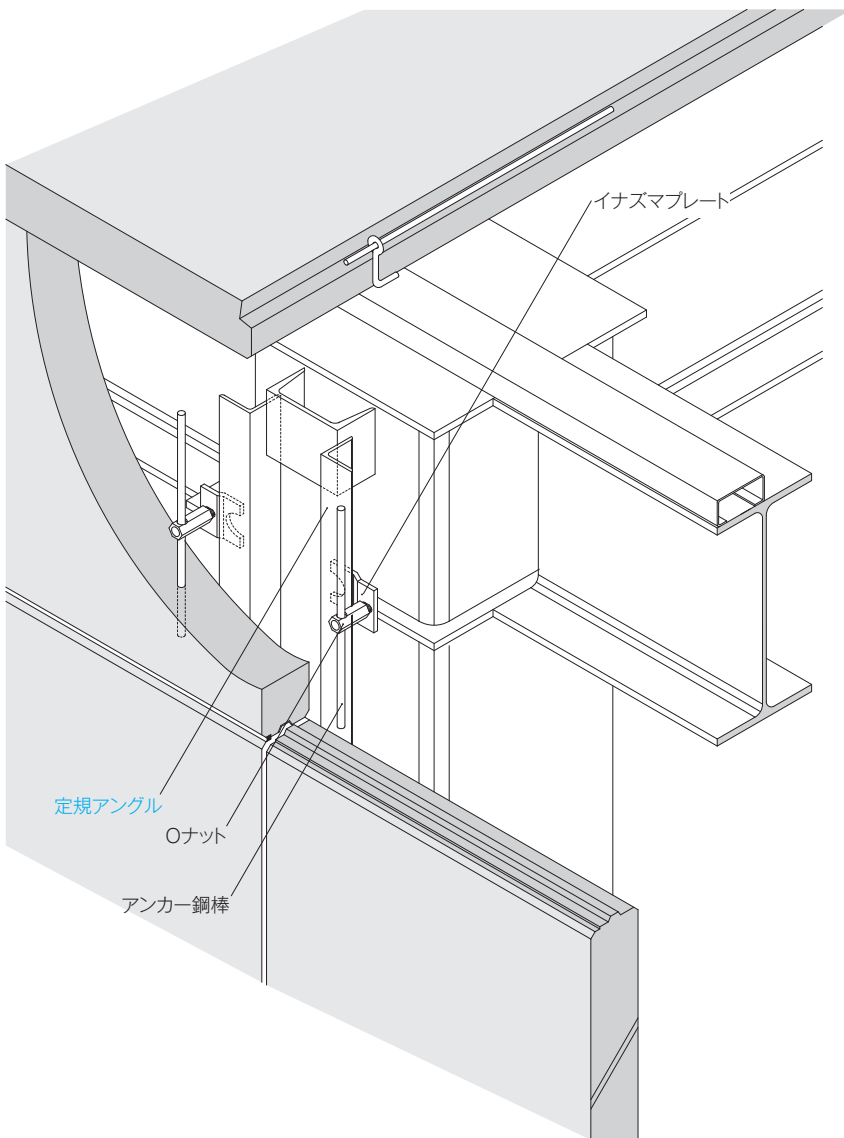


注4 下地(柱)がH型鋼の場合にも、直接パネルが接する納まりでは、下地の不陸によりパネルが損傷するおそれがあるため、必ず定規アングルを用いる。
 注5 伸縮目地は必ず10~20mm幅で設け、パネルの端部形状はフラットとする。



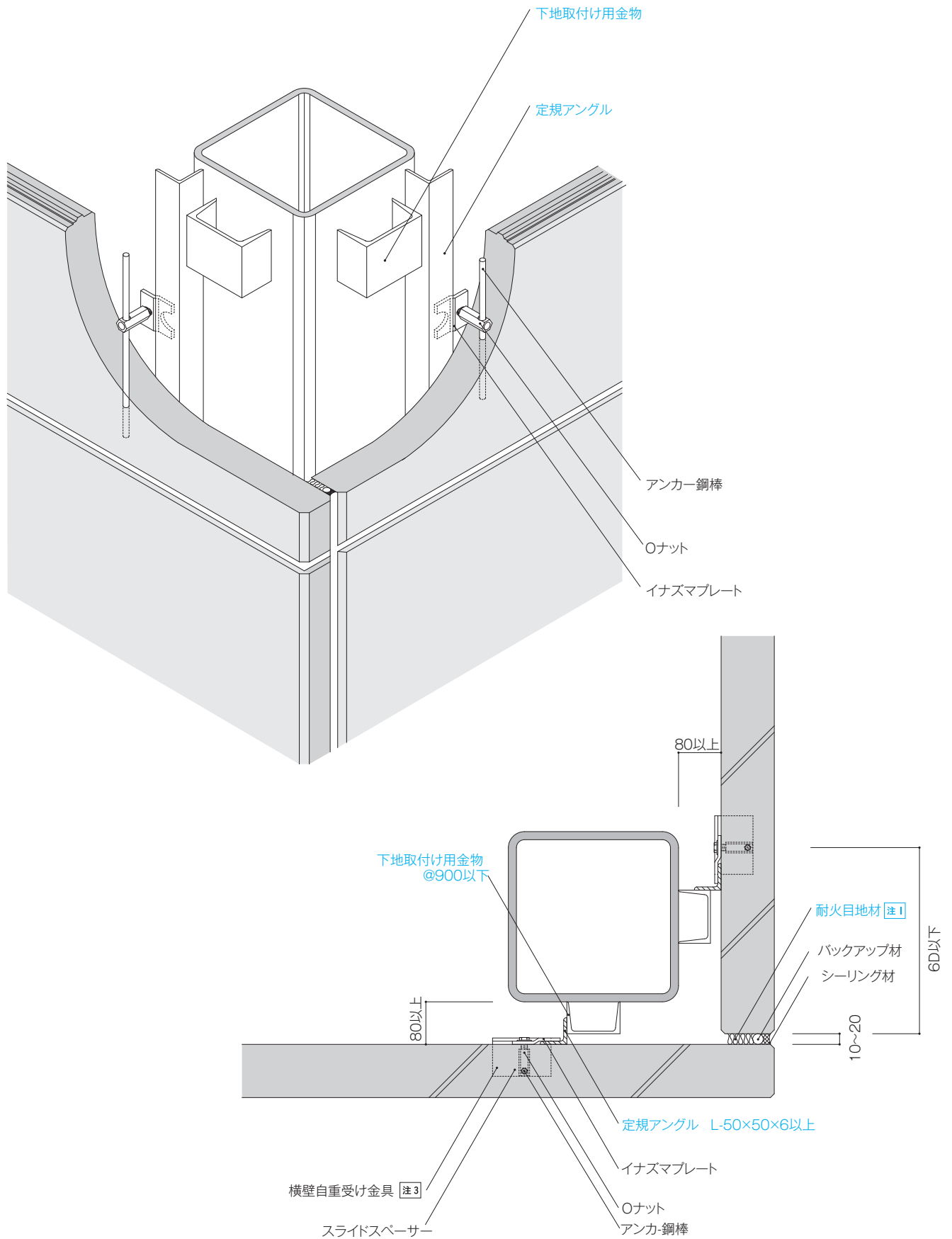
パラペット部 / C部





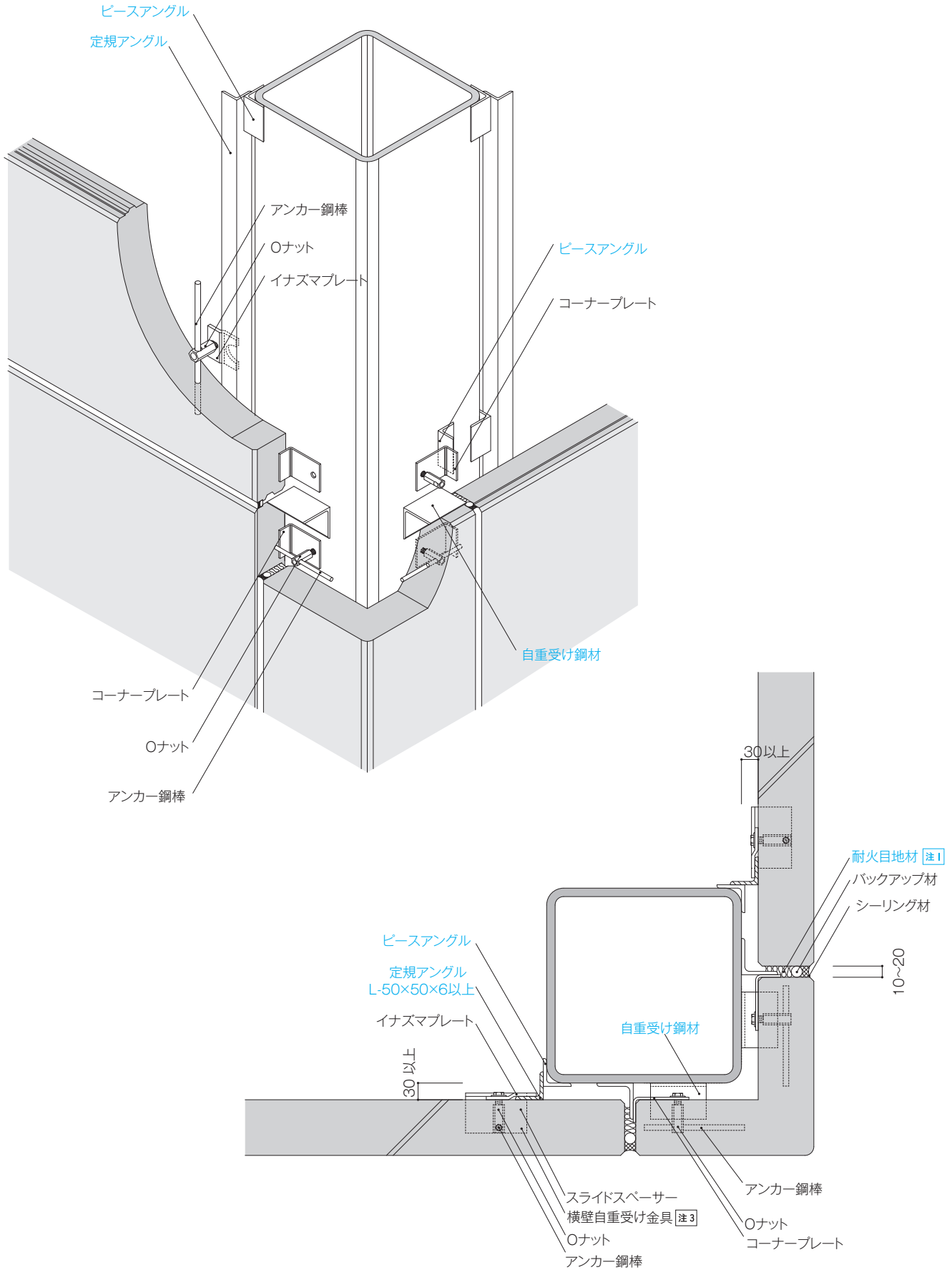
[注1] 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。

出隅部/E部（平パネルを使用する場合）



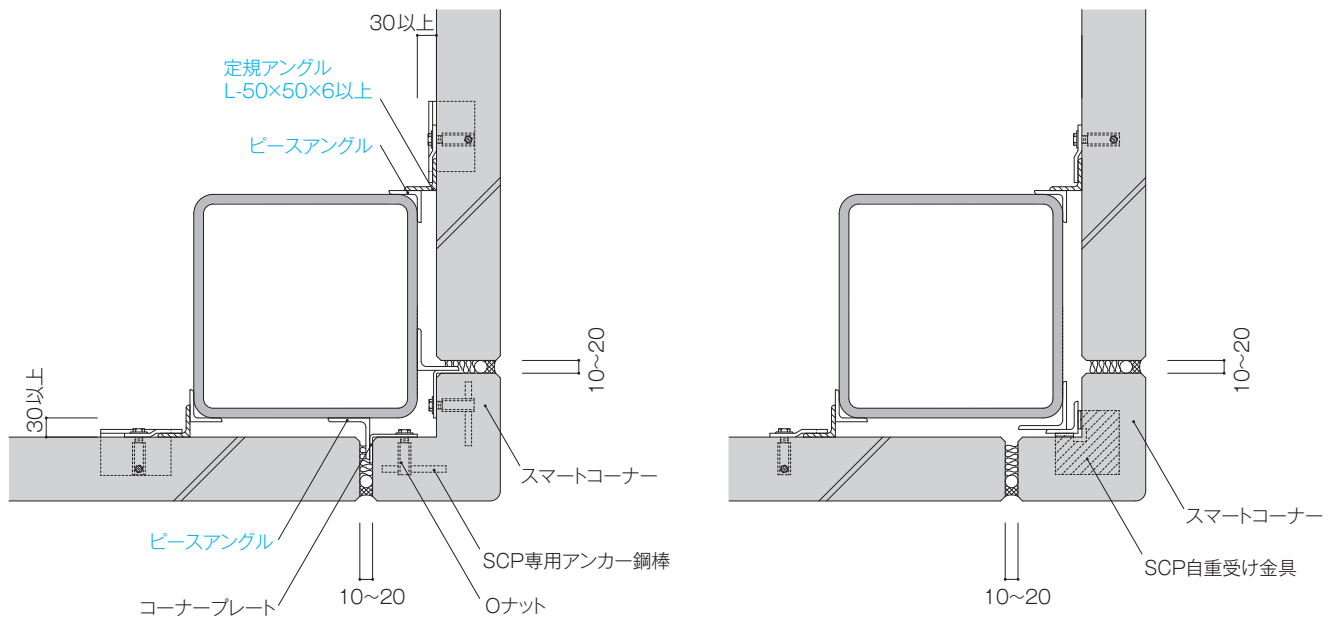
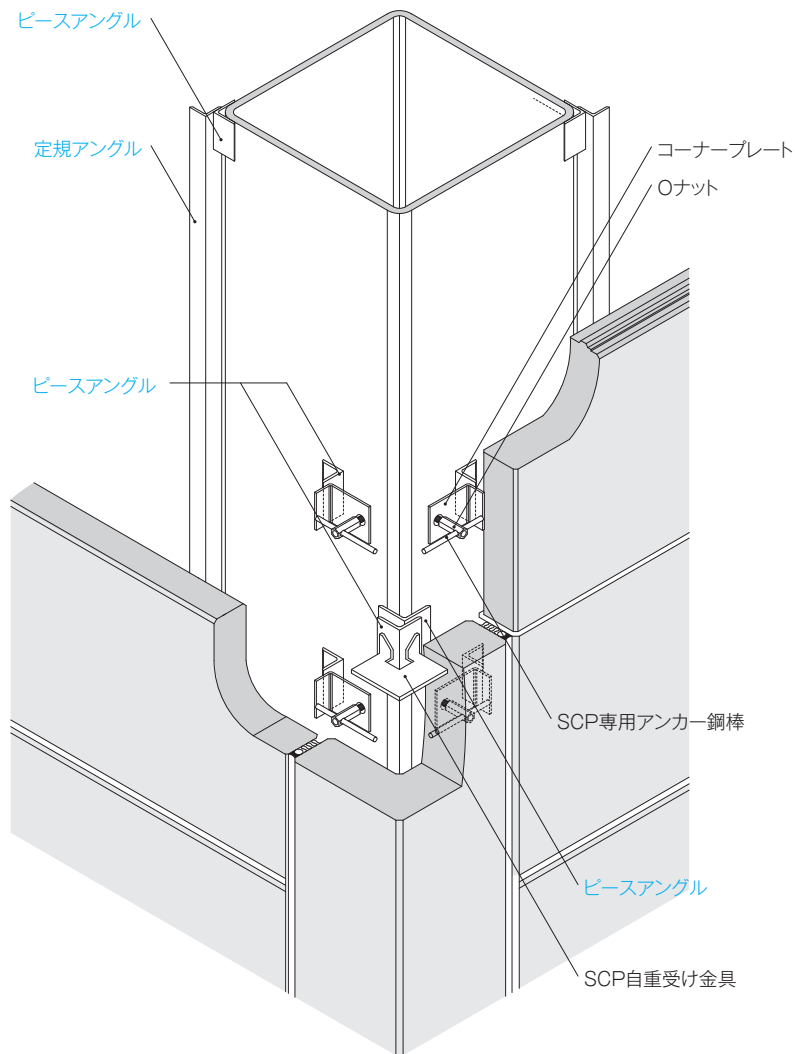
注3 横壁自重受け金具:横壁HDR構法では面内変形追従性能を向上させるために、専用の自重受け金具を用いる。自重受け金具は、パネル100mm厚で5枚、125mm厚で4枚、150mm厚で3枚ごとに設け、スライドスペーサーを必ず使用する。

出隅部 / E 部 (コーナーパネルを使用する場合)



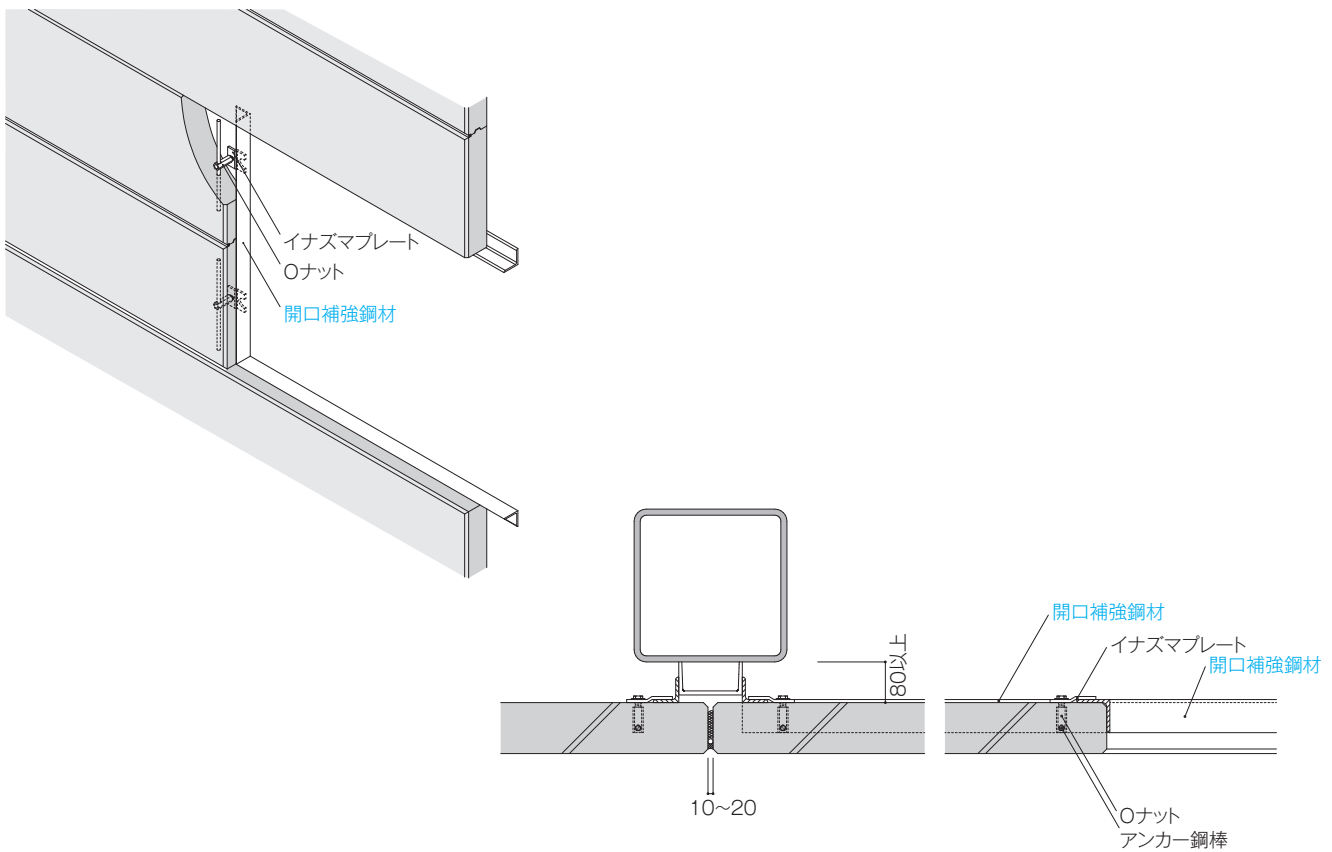
注1 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。

出隅部/E部（スマートコーナーパネルを使用する場合）

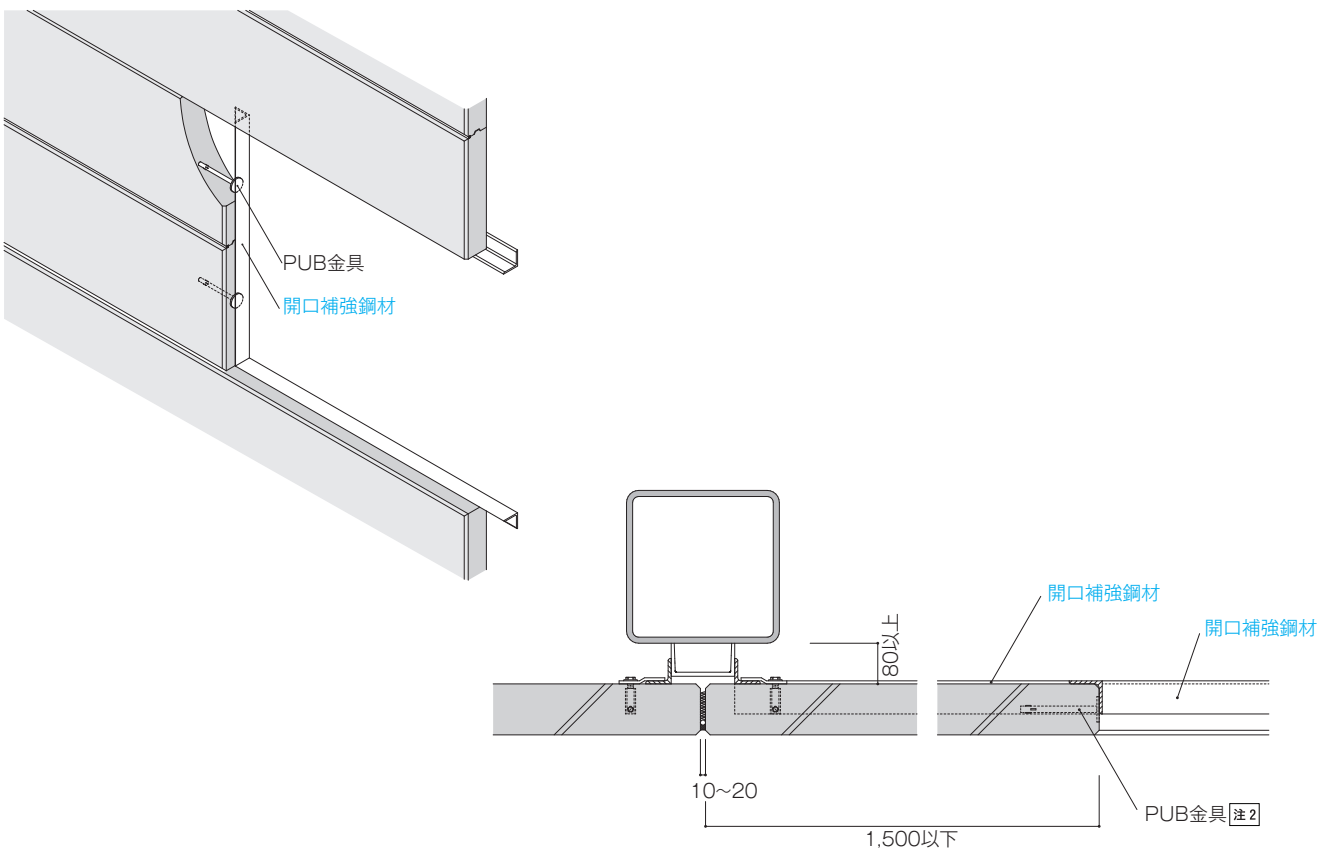


注3 横壁自重受け金具:横壁HDR構法では面内変形追従性能を向上させるために、専用の自重受け金具を用いる。自重受け金具は、パネル100mm厚で5枚、125mm厚で4枚、150mm厚で3枚ごとに設け、スライドスペーサーを必ず使用する。

開口部 /F 部 (O ナット仕様)



開口部 /F 部 (PUB 金具仕様)



^{注2} PUB金具：開口部周辺のパネルをPUB金具で取り付ける場合、パネル長さ1,500mm以下で、負の風圧力2,000N/m²以下の場合に使用できる。ただし、はね出しで使用する場合は、所定の許容荷重以下であることを確認する。